

カナリア通信



第19号

「カナリア通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で逞しく、そして女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

新入社員へメッセージ

今回は6月14日付です。テーマは「メンタルヘルス」を予定しています。

入社4年目

鈴木 聡子
ジャパンホームシールド
広報マーケティング部



- CSR活動の一環として小学校の授業に出向くようになり、子どもたちに「また来てね」と言われた時はとてもうれしかった。大人になって思い出してもらえる授業ができれば、と常々思っています。
- 自分が手掛けたニュースリリースや記者発表などがメディアに注目されると達成感があります。あまり目立たない業界ですが、縁の下の力持ちとして住宅の安心・安全に貢献していることを広く伝えていきたいです。
- 他業界からの転職でこの業界での経験がまったくない、馴染めるだろうかと不安でした。
- 業界未経験で「何が分からないか分からない」状態になり、落ち込んだことがありました。いまは、周りの詳しい社員になるべく早めに質問するように心がけています。
- ありません。
- 散歩。本社のある両国は歴史的な建造物と現代的な風景が溶け合っていて、歩いていて楽しいです。帰りに音楽を聴きながら1、2駅歩くこともあります。
- 緊張すること、不安なことばかりだと思いますが、あまり思いつめずに楽しく働けるといいですね。無理はせず、辛くなったら頭をいっただん空っぽにして早く寝ましょう。



新入社員の皆さんは、社会人として期待と希望で胸を膨らませつつも、学生とは違う環境にどうやって生きていくのか、5月になると会社にも慣れ、仕事も少しずつ覚えはじめる。抱へた不安や悩みを解消していきましょう。そこで19号では「新入社員へメッセージ」と題し、入社2～4年目の先輩女性社員から新入社員に向けて熱いメッセージをお送りします。仕事上での成功や失敗談、壁にぶつかった時の乗り越え方、人間関係など、先輩の経験談や対処法が困った時に役立つはずです。

質問項目

- 入社して初めて、嬉しかった出来事、頑張ろうと思った出来事
- 仕事の面白さや達成感を得た経験はありますか。それは何ですか
- 入社当時、不安だったこと、辛かったことはありますか。それは何ですか
- 失敗談について。解決策があれば教えてください
- 退職を考えたことはありますか。その理由を教えてください。また思いと違った理由も教えてください
- 気分転換の方法は何ですか
- 自身の経験を踏まえて新入社員へメッセージをお願いします

入社3年目

星野 敦子
高砂熱学工業
名古屋支店 技術2部



- 初の担当業務は既設機器の更新工事でした。所長の「失敗してもいいから自分でやってみな」という言葉で、責任を持って頑張ろうと思いました。
- 空調機が機能を果たして引渡を完了したときに、大きな達成感を得ました。それまでの工事や調整の大変だった過程が、自分を成長させてくれたと実感しました。
- 資格や専門知識がなかったため、業務についていけるか心配でした。しかし、入社後の研修で徐々に慣れていく中で、1年目のスタート時は、みんな大差がないのだからと、安心しました。
- 現状確認が曖昧なまま仕事を進めると漏水が発生してしまったこと。解決策は、誰が何をしようとしているのか、情報を事前によく確認して予防することです。
- ありません。何かあったら相談できるように会社のフォローがあるので、1人で悩みを抱え込むことはありませんでした。
- 愛車でドライブに出かけることです。週末は買い物や温泉に行ってリフレッシュしています。
- 最初はわからないことだらけで大変だと思いますが、積極的に質問したり、自分で調べたりして疑問を残さないことが大切だと思います。これから同じ建設業界でがんばりましょう！



入社2年目

加藤 みなみ
三井住友建設
横浜支店

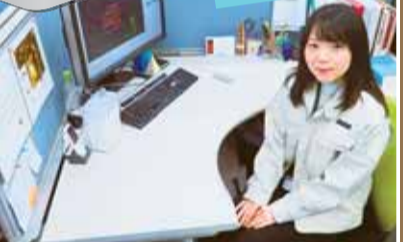


- 現場配属当初は挨拶しかできませんでしたが、徐々に仕事を覚え職人さんとコミュニケーションが取れるようになったことです。また、監督さんらしくなってきたね、と言われた時は嬉しかったです。
- 次にどんな作業があって、そのためには何が必要なのかを理解できたこと、成長したのかと実感しました。また、段取りをして職人さんに頼んだことが思ったようにできた時に達成感があります。
- 男社会と言われていた建設現場で働くことに不安はありました。実際には所長をはじめ、女性だからと決めつけられることもなく、働きやすい環境です。女性ならではの視点・強みを生かせるらいなと思っています。
- 自分が担当した作業での確認ミスにより、多くの人に迷惑をかけたこと、成長への過程なので、今までのミスを忘れずに2度同じことをしないよう、納得するまで確認することが大切です。
- ありません。
- 仕事を終えたら完全にプライベートのことに考えないことで、メリハリをつけています。休みの日は友人に会ったり買い物したり、好きなことをとこんやります。また、ランニングが好きなため、大会に参加するなど目標を設定し、仕事とは違う達成感を得るようにしています。
- 初めは何もわからなくて当たり前です。しかし、教えてもらったこと・経験したことは必ずメモを取り、自分のモノにしておくことが大切です。辛いことがあっても、日々の変化・成長に感動することを忘れなければ、前向きになれると思うので、諦めないで続けてほしいです。



入社2年目

野崎 祥恵
コトブキシーティング
スリープアップセルビジネス
ユニット 設計



- 配属されたばかりで緊張していたころ、周りの先輩方から気さくに声をかけてもらえたことが嬉しかったです。コミュニケーションが取りやすい雰囲気も素敵だと思っています。
- お客さまに分かりやすい図面を作成するように意識していますが、提出後に質問をいただいたり、自分だけでは気付かなかった見直しや改善点を発見することがあります。「より良くするためにどうするか」と考えを巡らせることは面白いですし、形になった時は達成感も得られます。
- 「公共家具の設計」は未知の世界でした。新しいことを学びながら頑張ろうと気合が入る反面、知識がまったくない分野に飛び込むことがとても不安でした。
- 自分のミスで上司や先輩の仕事を増やしてしまったことがあります。同じことを繰り返さないように手帳に記録し、改善点をしっかりと考えるようにしています。
- ありません。上司や先輩が助けてくれ、悩みがあればいつでも話を聞いてくれるので、ありがたいなと思っています。
- 学生時代の友人とお互いの近況について話をしたり、展示会や気になるお店を見に行ったり、会社と違う環境で休日過ごすこと。
- 失敗することもあります。そこから新たに気付いたり学んだりできることも多いです。次に生かせるように、前向きにとらえようとモチベーションを高く持つことができるので、反省と向上のメリハリをつける事も、とても大切だと思います。これから新しい経験がどんどん増えていくかと思いますが、頑張ってください！



入社2年目

竹尾 美幸
基礎地盤コンサルタンツ
技術部



- 報告書に使う図に対して、上司に分かりやすいと言ってもらえたこと。
- ボーリング調査結果から調査地点付近の想定地層断面図を書いたとき。想定だけれども地面の下をのぞいているようで面白かったです。
- 現場近くにトイレがない、もしくは男女兼用の簡易トイレしかなかったこと(あるだけマシなかもありませんが)。特に生理だと頻りにトイレに行きたい、その時の簡易トイレは辛い。汚物を捨てて場所もない。
- 現場で協会会社への指示内容について会社にいる上司と確認を取る時に、状況を上手く伝えられず、結局、協会会社と上司が直接やりとりすることになってしまった。現場のことがあまりにも分かっていなかったため、もっと勉強してその場にいらない人にうまく伝える話し方を身につける必要があると感じました。
- 特にはありませんが、出産を迎える時に考えると思う。育児休暇の取得回数や期間など、どうするのだろうか考えた時に離職する道を選ぶかもしれない。
- お菓子を食べてながら面白い番組を見て大笑いすること。トランペットを吹くこと。
- 男女では身体的な体力の違いがあります。頑張りたいけれど無理をして身体を壊しても周りに迷惑がかかる、でも妥協すべきではないと葛藤がありました。悔しいけれど、それは他でフォローしていくしかないと思っています。悩みを抱え込まないよう、頑張りすぎずに過ごしていきたいです！



夏の地肌 薄荷&オレンジでスッキリ!

石澤研究所

5月に入り、日増しに暑くなってきました。暑い夏の地肌は汗のニオイやべたつきが気になります。そのような悩みを、石澤研究所の「植物生まれのオレンジ涼やか地肌シャンプー」がまるっと洗い流してくれます。搾りたてのオレンジ(*1)に、摘み立て薄荷(*2)をプラスしているので、お風呂上がり心地よい冷んやり感がサッパリ。まるでスッと地肌にそよ風が吹くような爽やかな洗い上がりです。100%植物由来の石けんベース、無添加、弱酸性、オレンジ精油配合と嬉しいことばかり。毛穴の奥まで爽やか体験で不快な夏も乗り切れそう。

250ml 価格は1,300円、400ml 価格は1,800円(ともに税別)。全国のバラエティショップで限定販売中です。
*1 保湿 *2 清涼肌

◇「植物生まれのオレンジ涼やか地肌シャンプー」を抽選で2名にプレゼント
住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部へファクスかウェブからご応募下さい。締め切りは5月22日(月)です。



スマホ、携帯電話から応募できます!



理工チャレンジ

女子高校生・女子学生の理工系分野への選択

8月10日「夏のリ」チャレンジ
日刊建設通信新聞社は、日本経済団体連合会・内閣府・文部科学省が主催する「夏のリ」チャレンジ2017(理工系のお仕事体感しよう)の参加企業として日本大学理工学部を協力を得て8月10日にイベントを開催します。イベントでは、「(仮称)わたしたちの住む街の仕組みを知ろう」と題し、中学から高校の女子生徒に建設産業界の仕事体験をもちょう予定しています。同日、同イベントで技術などを紹介、出展する企業・団体を募集します。締め切りは5月15日。

問い合わせ・詳細は、電話03-3259-8716。
主催：日刊建設通信新聞社
共催：日本大学理工学部
開催日：8月10日(木)
時間：午前10時～午後4時(終了後、懇親会)
場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館
*リチャレンジ：理工系分野に興味がある女子中高生・女子学生が、将来の自分を選択し、理工系分野で活躍するチャンレンジすることを応援するために、内閣府が中心となって行っている取り組み。

日刊建設通信新聞社主催
日本大学理工学部共催

企業経験生かし、新たな挑戦にやりがい



めぐみ薬局代表
管理薬剤師
南出 美佐さん

以前勤めていた製薬会社では、営業部門や教育部門、お客様相談窓口などさまざまな経験を積んできましたが、東日本大震災で帰宅難民となった経験から、自分の働き方について考え、自分の住む地域で活躍できる薬剤師として働くことを決意し、4年前に調剤薬局を開局しました。今までは得意先としての位置付けだった調剤薬局での仕事は、苦勞も多いですが新しい挑戦として非常にやりがいがあります。また、今までの企業経験が非常に役に立っています。特に、患者さんとの接遇や医師への疑問照会でのやり取りでは、お問合せ窓口で培ったコミュニケーションスキルが非常に生きています。薬だけでなく、日常生活におけるアドバイスも含めて服薬指導をすることを中心していますが、改善されると喜ばれると非常に喜びを感じます。地域に根差した薬局をモットーに、現在では処方せん調剤以外に在宅医療や地域貢献として、夜間休日診療での輪番勤務や地域薬剤師会の理事としても活動しています。日々、地域の中でのつながりが広がっていることを、喜ばしく感じています。

「何と知らない、わからない」のだから、とにかく質問するのが大事だと思う。C 一人で悩むより、さっさと聞いて問題を解決した方が楽ですよ。B 私たちも先輩として新人に声をかけたり、丁寧に質問に答えることを心掛けます。

お問い合わせ
株式会社日刊建設通信新聞社 カナリア通信編集部
TEL03-3259-8711 FAX03-3259-8730
*ご意見・ご感想、プレゼントの応募は
canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。
「カナリア通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。

連絡先はこちら

